

<皮膚科>

一般（教育）目標

皮膚科では、湿疹、アトピー性皮膚炎、乾癬、痤瘡などの炎症性疾患、带状疱疹、蜂窩織炎や白癬症などの感染症、悪性黒色腫や基底細胞癌などの皮膚癌に加え、熱傷、褥瘡、薬疹など幅広い疾患を取り扱う。また、皮膚科の診断には、経過や臨床像、病理組織などの情報を統合する必要がある。研修プログラムを通じて、皮膚科領域の疾患および病態を理解し、診断や治療法の決定に至るプロセスを習得することを目標とする

（具体的）行動目標

(1) 基本姿勢

- ・皮膚疾患の病態の理解を深め、疾患の原因、誘因、悪化因子を明確にできる病歴聴取を心がける

(2) 診察法・検査・手技

- ・皮疹の見方（発疹学）の基礎を学び、視診、触診による皮疹の評価法を学ぶ
- ・皮膚科疾患の診断に必要なダーモスコピー、真菌検査、皮膚生検、パッチテストなどの検査を理解する

(3) 症状・病態への対応

- ・適切な診断に基づいて、ガイドラインに沿った標準的な治療を行なう
- ・皮膚の慢性炎症性疾患に対する生活指導を行う

学習方略(1)

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行い受け持ち患者数は最大5人程度とする
- (2) 週1回の部長回診、写真カンファレンス、組織カンファレンスに参加し、症例提示を行う
- (3) 上級医の指導により、各種検査、手術を計画し、実施する
- (4) ガイドラインなどを参考にして受け持ち患者の治療計画を立て、上級医の指導の下で実施する

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 組織カンファレンスで組織の所見を述べ、診断に至るプロセスを学ぶ
- (2) 毎月1回行われる城南地区組織カンファレンスに参加し、症例報告、病理組織について学ぶ
- (3) 日本皮膚科学会東京地方会をはじめ、東京で開催される学会や勉強会に積極的に参加し、皮膚疾患全般についての最新の情報を得る

週間予定（例）※随時、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務 （初診予診）	病棟業務 （初診予診）	病棟業務 （初診予診）	手術室レーザー、手術	病棟業務 （初診予診）
午後	病棟業務 レーザー、外来手術	病棟業務 レーザー 外来手術	病棟業務 写真カンファレンス、組織カンファレンス、 回診	病棟業務 手術室レーザー、手術	病棟業務 レーザー、外来手術

第3水曜日に城南組織勉強会がある。

また、土曜日、日曜日は交代で処置の当番を行う。

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること